

研究・研修報告書



令和4年10月31日

小牧市議会議長 様

会派名 無会派
代表者氏名 野々川嘉則

研究・研修の結果を報告します。

記

1 参加議員

野々川嘉則

2 日程

令和4年10月19日（水）～ 令和4年10月20日（木）

3 研究・研修名

第17回全国市議会議長会研究フォーラム
ーデジタルが開く地方議会の未来ー

4 主催者

全国市議会議長会

5 会場

長野県長野市 ホクト文化ホール

6 受講の目的

他市の議会でのデジタル化推進事例を学び、小牧市議会への糧とする。

7 主な内容

10月19日（水）（1日目）

（1）開会式

主催者挨拶 全国市議会議長会会長 横浜市会議長 清水富雄氏
開催市議長挨拶 長野市議会議長 寺沢さゆり氏
来賓挨拶 長野市長 荻原健司氏

（2）基調講演

「コロナ後の地域経済」

(株)経営共創基盤 (IGPI) グループ会長、
(株)日本共創プラットフォーム (JPiX) 代表取締役社長
富山和彦氏

(3) パネルディスカッション

「地方議会のデジタル化の現状・課題と将来の可能性」

【コーディネーター】

毎日新聞社論説委員 人羅 格氏

【パネリスト】

早稲田大学電子政府・自治体研究所教授 岩崎尚子氏

東京大学先端科学技術研究センター教授 牧原 出氏

明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授 湯浅壘道氏

長野市議会議長 寺沢さゆり氏

10月20日(木)(2日目)

(1) 課題討議

「地方議会のデジタル化の取組報告」

【コーディネーター】

慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授
谷口尚子氏

【パネリスト】

取手市議会議長 金澤克仁氏

可児市議会議長 板津博之氏

西脇市議会議長 林 晴信氏

8 所感・提言・課題等

今回のテーマは、「デジタルが開く地方議会の未来」ということで、先進地の取り組みや、課題討議での考え方を学んできた。

パネルディスカッションにおける、先進地の取り組みでは、議会でのオンライン会議が活発に行われていることが判った。

また、デジタル化はハードウェアを入れることではないし、単純に紙を廃止する事だけではないことも伺うことができた。併せて、デジタル化を推進していくことにつきものであるセキュリティーの問題について、全体で考えないといけないこと、議会として自立的に進めないといけないということも伺うことができた。

デジタル化・オンライン化は、議会と住民とのコミュニケーション

ツールとして、意見交換会での活用事例が報告された。

提言として、①“やって何になるのか”→“やってみたらどうか”に、②できることからやっていく（回数重ねて慣れていく）、③人材が大切（例えば市議会同士の連携等）が出された。

課題討議では、意見交換会等住民とのコミュニケーションツールとして使用していくことや、全ての会議をオンライン化するのではない、オンライン・デジタル化はツールの一つであることを念頭に置くこと等や、人材育成が不可欠であることを伺った。

小牧市議会としても活動は行っているが、他市に比べるとまだまだであり、少しずつでも進めていかなくてはならないと思うところである。

以上

